

2020年11月5日 OBPM ユーザー会

テーマ別トラックまとめ

5. リモートワークトラック

リモートワークトラック【メンバー向け】

ファシリテータ：山田 浩司、宮崎 勇輔

Q.リモートワークで生産性を高めるポイントは？

● ツールを正しく使う

→ ルールを順守。

例) ガントチャートの登録は必ず行う。

決められた形でコミュニケーションの記録を残す。週報を使う。今週やることをする。

● 日々の入力・進捗チェック

→ 進捗を業務終了時に入れる

またこまめに mtg を実施して自分の進捗を把握する

● 心がけ

→ リモートワークであるからこそしっかり業務をやるという心がけをする
自分のタスクがどんな状態かガントチャートをもとに把握する。

■ 参加されたユーザー様がされているリモートワークへの取り組み

- ・チャットツールの導入
- ・コアタイム制度の導入
- ・交代出勤制度の導入

Q.生産性を高めるために SI が取り組んでいること

● 作業環境の整備

- ・モニター
- ・Wi-Fi 支給
- ・リモートワーク手当の支給

Q.出社している人が不公平感を持たないようにするための具体的な手段を教えてください。

●まず、なぜ不公平と感じているのか原因を把握しましょう。

出社しないこと？出社と在宅との差？仕事しているかわからないから？等々

何となく「ずるい」と思っている個人的な感情が不公平に繋がっているかもしれません。

●次に不公平に感じさせない考え方を会社全体に根付かせていくことが必要でしょう。

例)

- ・ 社内の意識改革
- ・ ツールの導入によるリモートワークへの対応促進
(リモート先でも電話が取れる、製品などの保守を実施することができる等)
- ・ 職種によってはどうしてもリモートワーク出来ない(仕方がない事としてあきらめる)
- ・ リモートワーク出来る環境に近づける(ジョブローテーションなど)
- ・ 会社のルール変更 (通勤費廃止や新たな手当／当番制などの併用／評価制度の見える化)

化)

※総務省テレワーク導入モデル資料によると以下のような記載があります。

“ルールや運用方法の改善、在宅勤務などのメリットを実感させる環境整備、新たな技術の採用”

引用元：https://www.soumu.go.jp/main_content/000616262.pdf

Q.SI がリモートワークでパフォーマンスを管理するコツを教えてください。

- マイルストーンを多く設定することによる定点監視と意識づけをする。
- 日々の TODO 管理の徹底
(Todo 管理ツールは、Microsoft ToDo、Microsoft Planner など)
- ガントチャートの生産性や週報の利用、進捗の変化点監視